

19時の虎ノ門でプラネタリウム



秋の夜空をプラネタリウムで

臨場感あふれる生解説

みなと科学館 プラネタリウム

2020年4月、港区虎ノ門にオープンした「港区立みなと科学館」。体験型の常設展示や季節ごとに入れ替わる企画展、最新鋭のプラネタリウムで、都会の真ん中で楽しみながら科学にふれることができる、人気がある。

2階にあるプラネタリウム(全121席)では、現在、「まぐまぐんの星空大冒険」秋の星座「イナズマデリバリーバイザウェイの地球探査!」「スペース★グランド・アドベンチャー!」惑星探査機ボイジャーの旅「MMX火星衛星探査計画」など多くの番組が投影される。

平日の昼には「おひるのプラネタリウム」として、20分のプラネタリウムが無料。夜は毎日19時から、日ごとに変わる番組編成で投影。毎週水曜日は「お仕事かえりのプラネタリウム」として、満天の星と特別な星座絵に落ち着いた癒しのBGMを聴きながら、ゆったりした時間が楽しめる。月1回投影の「リクエストプラネタリウム」では、過去や未来の星空エピソードを投影前日の17時まで募集している。採用されると解説員がその時・その場所の星空を再現し紹介する。投影中は星空の写真撮影が可能なシーンもある。

今夜はどんな星が見えるのか、星座にまつわる物語やタイムリーな天文情報など、毎日少しずつ変化する星空を、みなと科学館プラネタリウムの解説員が、生の声で個性豊かに案内するのも臨場感もあり、魅力的だ。

空気が澄み秋は夜空がきれいに見える季節。プラネタリウムでも星空散歩を楽しみたい。

スペース★グランド・アドベンチャー! 惑星探査機ボイジャーの旅

今年7月に投影が始められた同館オリジナル番組。1977年に打ち上げられたボイジャー1号の旅路をたどりながら、巨大な木星の嵐や美しい土星の環、神秘的な天王星・海王星の世界などを迫力ある映像で紹介。本編映像の前に、解説員によるその日の星空の生解説があり、季節の星座や天文現象、宇宙探査の最新ニュースなどを約15分間にわたって紹介。番組に登場する惑星や、ボイジャーが旅した太陽系の世界についても触れ、宇宙への興味がさらに広がる。

40分間(前半に星空生解説)

MMX 火星衛星探査計画

MMX ミッションは、「はやぶさ」「はやぶさ2」の技術を受け継ぎ、火星の衛星フォボスに着陸してサンプルを持ち帰るという意欲的なミッション。ミッションの紹介にとどまらず、サンプルリターンの意義や、人類と宇宙のかかわりという広い視野で、宇宙探査の意義を描き出す。MMX 探査機だけでなく、「のぞみ」「あかつき」「はやぶさ2」などの探査機や、次世代を担う日本の次期基幹ロケット「H3」も登場。2026年2月投影開始。

40分間(前半に星空生解説)

まぐまぐんの星空大冒険 一秋の星空一

まぐまぐんは星の世界へ! 星空の大冒険。未就学児、小学生対象。©NHK/dwarf 35分間(前半に星空生解説)



投影期間10月23日(金)まで

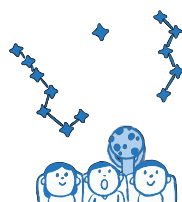
星空散歩 一昔のお月見一

「お月見の日はどうに決められているのでしょうか。昔の人はどのようにお月見をしていたのでしょうか。」今年の9月25日は「中秋の名月」、10月23日は「後の月」といい、どちらの日もお供え物をして月をめぐる風習がある。

40分間(全編生解説)

おひるのプラネタリウム

お昼休み、頭も身体もリラックス。予約不要。無料。平日 12:30~12:50 (20分)



同館プラネタリウム解説員の皆さん



<https://minato-kagaku.tokyo/>